

**技術開発テーマ名**[高精度衛星編隊飛行技術](#)**実施機関名（代表機関）**

インターステラテクノロジズ株式会社

研究代表者名

稲川 貴大

技術開発課題の名称

超多数機の精密制御が可能な編隊飛行技術の構築

本SG評価の位置づけ

本ステージゲート評価は、採択時に、実施方針では予定されていなかったステージゲート評価を追加して、主に主要技術課題の実現性・成立性を示すことが審査会から求められたことから、実施したもの。

評価の概要

本技術開発課題は、設定されたステージゲート目標および当初計画に基づく全項目で計画を達成し、全体として極めて順調かつ計画的に推進されていること、また組織的なPDCA運用や知財・研究発表への展開を含め、研究マネジメント面でも効率的で健全な体制が構築されていること等が評価される。

実施されたシミュレーションや実験は理想条件・初期的検証までであることから、実運用上の課題について、より慎重かつ網羅的な検討が必要である。また、軌道上実証については、通信を含めた事業全体の機能像に即した形としつつ、実用化・社会実装に向けた検討が求められる。

以上により、公募要領等に示されたステージゲートの観点に照らして、技術開発計画は想定通りに進捗しており、優れた成果が得られている、またはその見通しが得られていることから、技術開発を継続すべきである。

座長

(担当PO)

木村 真一

東京理科大学 創域理工学部 電気電子情報工学科 教授

委員

久保田 孝

明治大学 理工学部 特任教授

委員

坂東 麻衣

九州大学 大学院工学研究院 航空宇宙工学部門 教授

委員

峰 正弥

一般社団法人測位航法学会 副会長

委員

吉田 憲正

大阪公立大学小型宇宙機システム研究センター 客員研究員

敬称略、座長を除き、委員は五十音順

利益相反マネジメント規程に則り、審査委員は、利益相反がある技術開発課題についての審査をしていない